

「ちょっと心配だな。声をかけたほうが良いかな」と感じるサイン

(地域のみなさんの実体験などから)

地域包括支援センターつつじ苑 25年3月6日 稲羽地区 地域ケア連絡会 より

① “認知症。どこかへ出かけて帰って来れない”

町や店、地域で見かけて「あの人は声をかけてみたほうが良いかな？」と感じるサイン

【危うさ】

- ◇車道を歩いている。
- ◇遮断機が降りているのに踏切を渡ろうとする。
- ◇店の中で商品を分解してしまう。(例：3パックつながったゼリーをバラにしてしまう)
- ◇庭など、他人の敷地内に入り込んでしまう。

【不自然さ】

- ◇同じところを何度も行ったり来たりしている。
- ◇自転車でふらふらと行ったり来たりしている。
- ◇季節に合っていない服装をしている。
- ◇汚れた服のままで歩いている。
- ◇裸足で歩いている。
- ◇雨が降っているのに傘を差さずに歩いている。
- ◇キョロキョロしている。
- ◇座るところじゃないのに座りこんでいる。
- ◇夕方や夜、薄暗い中を一人でとぼとぼと歩いている。
- ◇声かけしても返事がない。

【地域ならではの。普段との違い】

- ◇近所で見かけたことがない人がいて、声かけしたらあいまいな返答が返ってきた。
- ◇普段見かけない人がうろうろされていた。

② “一人暮らし。無事に生活できているか心配です”

町で、地域で「ちょっと心配だな」と感じるサイン

【地域ならではの。普段・これまでの様子との違い】

- ◇新聞受けに新聞がたまっている。
- ◇暗いのに電気(照明)がついていなかったり、逆に、変な時間についていたりする。
- ◇普段カーテンの開け閉めをしている人が、開けたままや閉めたままになっている。
- ◇これまで庭の手入れをよくしていた人が、手入れが行き届かなくなってきた。
- ◇いつも車を使っていた人なのに、車が同じ場所から全く動いていない。
- ◇回覧板が回って来ない。
- ◇洗濯物が干しっぱなしになっている。
- ◇普段関わっている人(例：出入りの米屋さんなど)から、様子が変わり、等の情報が入る。